

## 『会社法の道案内——ゼロから迷わず実務まで』／目次

はしがき

## 序 章 「会社法」とは何か——民法と商法の関係 1

- 1 商法とは——その形式と実質の関係 1
- 2 会社法とは 4

## 第1章 会社とは法律上どのような仕組みか——企業・会社・株式会社 8

- 1 誰が事業をするのか 8
- 2 会社とは 12
- 3 会社もいろいろ 16
- 4 株式会社とは 19
- 5 会社の権利・義務に制限があるということ 22

## 第2章 株主と経営者の役割分担——会社の機関 24

- 1 株式会社の機関——総説 24
- 2 機関の種類 25
- 3 機関相互の関係 25
- 4 会社と会社の機関構成者との関係 27
- 5 株主総会は何を意思決定する機関なのか 28
- 6 株主総会の招集手続（株主総会はどのような手続を経て開催されるのか） 29
- 7 株主の議決権 30
- 8 株主総会の議事 32
- 9 株主総会の決議方法 33
- 10 株主総会の決議に瑕疵があった場合の措置 34

### 第3章 誰が会社を経営するのか——取締役・取締役会と会社の関係 38

- 1 概説 38
- 2 取締役 40
- 3 取締役会 42
- 4 代表取締役 45
- 5 指名委員会等設置会社 49
- 6 監査等委員会設置会社 53

### 第4章 取締役に課される義務と責任 56

- 1 取締役の一般的な義務——取締役が会社に対して負う義務 57
- 2 会社と取締役との利益相反行為の規制 58
- 3 役員等の損害賠償責任 62

### 第5章 会社が資金を集める手段——株式・社債・新株予約権と資金調達 70

- 1 会社の活動には資金が必要 70
- 2 株式の発行による資金調達 71
- 3 社債発行による資金調達 81
- 4 新株予約権と資金調達 84
- 5 資本金と株式 87

### 第6章 株主が投資したお金を返してもらう手段——株式の流通 89

- 1 市場で株式を買うということ 89
- 2 株式の自由譲渡性 90
- 3 株式の自由譲渡性の例外 91
- 4 株式の担保 99
- 5 株券 100
- 6 株主名簿 102
- 7 株式の分割、併合など 105

## 第7章 会社がうまく回っていくためには——会社の決算・監査・内部統制 107

- 1 計算書類は会社の通知表——計算規定の意義 107
- 2 会計の原則 108
- 3 作成すべき書類等 109
- 4 資本と剰余金配当 114
- 5 監査機関——会社の経営活動の監視 117
- 6 内部統制とは 126

## 第8章 会社は「生きもの」——事業譲渡・会社分割・合併・企業買収ほか 128

- 1 M&Aとは 128
- 2 事業の譲渡——会社の事業を売ること 129
- 3 会社分割——部門を切り離して生き残る 131
- 4 株式交換・株式移転 135
- 5 合併——会社という法人が合体すること 136
- 6 企業買収（敵対的買収） 138
- 7 組織変更 140

## 第9章 会社の始まりと終わり——設立と解散・清算 141

- 1 総論 141
- 2 定款の作成 144
- 3 株式発行事項の決定と株式の引受け 146
- 4 設立時取締役・設立時監査役等の選任 147
- 5 出資履行による会社財産形成と株主の確定 148
- 6 設立の登記 148
- 7 会社の不成立および設立無効の訴え 149
- 8 設立に関する責任 150
- 9 会社の解散 153
- 10 清算（通常清算） 156

**第10章 会社と似た別の組織——協同組合などいろいろ 158**

- 1 いろいろな企業形態 158
- 2 協同組合 165

**終章 「会社法」に共通するルール——会社法総則 174**

- 1 会社も「商人」 174
- 2 会社の商号 176
- 3 会社の登記 178
- 4 会社の使用人と代理商 178
- 5 事業譲渡 180
- 6 会社法と経済法・労働法・相続法・税法との関係 182

## 索引

**凡 例**

本文中で会社法は法律名を省略する。その他の法令については、原則として本文中に正式名称で表記するが、商法、民法については、以下のとおり略記する。

商法→商

民法→民